

第 98 期 定時株主総会 Q&A サマリー

Q: 製造業で品質問題が発生しているが、CKDはどのような対応をしているか

A: 当社製品の検査体制は、教育訓練を受けた有資格者が検査規格に基づき、担当者が検査を実施しております。また、後工程において第三者が出荷検査を実施し、2 回の検査を行っております。

昨年の秋に、全工場の全ラインにおいて品質の総点検を実施し遵守していることを確認し、今年度も内部監査にて規格を遵守していることを確認しております。

Q: 海外活動におけるリスク及び対策をどのように考えているか

A: 海外に生産・販売の拠点を複数配置することでバランスを保ち、リスク分散を行っております。また、海外拠点に加えて日本の生産を強化することで海外のリスクに対応しております。

Q: 中国経済政策のリスクをどのように考えているか

A: 中国は経済成長を続けており、当社製品も多く使用され、会社として製品の供給責任、サービスの責任もありますので、中長期的な戦略に基づき、注意しながら取り組んでまいります。

Q: 中部地区の航空機産業との取引について

A: 航空機を作る設備に当社製品が採用されております。今後、航空機が量産されることにより設備投資につながり、その生産設備に当社製品が採用される可能性があります。航空機作りお役に立つことができると考えております。

Q: 対応すべき課題の「世界中で普及が進む IoT 化には、通信機能やセンサー類の強化をするとともに予防保全用商品を開発する」について詳細を知りたい。また、IoT 向けの商品は、自社開発しているのか。予防保全用商品とは何か

A: IoT 化について、当社の主力市場である FA 機器では、ネットワークに接続する商品の充実を図り、通信機器の開発を行っております。自動機械部門では、「スマートリン」という遠隔管理システムがあり、稼働状況の確認が出来ます。また、予防保全用商品とは、機械の故障における予兆を事前にお知らせできる商品です。

なお、通信機器につきましては、一部 OEM 商品もございますが、自社にて開発を進めております。

以上